

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|-----------|------------|----------------|-----|-----|
| 105-80 | 中 学 校 | 国 語 | 国 語 | 1 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 2 東 書 | 国 語 002-72 | 新 編 新 しい 国 語 1 | | |

1. 編修の基本方針

「言葉の力」で未来をひらく。



国語で身につけたい力とは何か。情報を集め、分析し、それをもとに論理的に考えぬく力。

身の回りの物事や人の心を細やかに感じ取り、豊かに想像を広げる力。

周囲の声に耳を傾け、自分の考えや思いを相手にしっかり伝える力。

子供たちがそうした「言葉の力」を着実に身につけ、

「言葉の力」によって未来を切りひらいてゆくことを願って、「新編 新しい国語」を編修しました。

1 「言葉の力」を、生きる力に。

—国語の学習で、どんな力を、どうやって身につけるのか。その問いに答える教科書です。

「言葉の力」—言葉を使って論理的に思考し、豊かに想像し、伝え合う力—は、子供たちのこれからの人生や社会生活を支える、生きる力です。では、「言葉の力」の具体とは？ それを身につける手立てとは？ この教科書には、「言葉の力」が確かに身につく仕組みがあります。



2 国語の授業から広がる未来。

—言葉を駆使して、自分の、社会の、未来をひらく。

国語の授業のその先を見据えた教科書です。

読んだり、書いたり、話したり聞いたりできるようになることだけが、国語の学習のゴールではありません。予測困難な時代を生きる子供たちが、言葉を駆使して自己と向き合い、社会の課題に目を向け、未来を切りひらくこと。それが、国語の学習の、この教科書の、目指すゴールです。

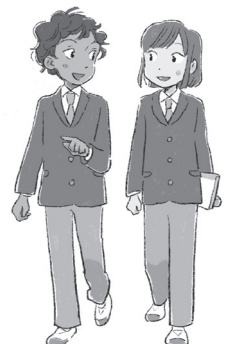


3 一人一人の「学びたい」に寄り添う。

—分かるようになりたい、できるようになりたい、知りたい、もっと学びたい。

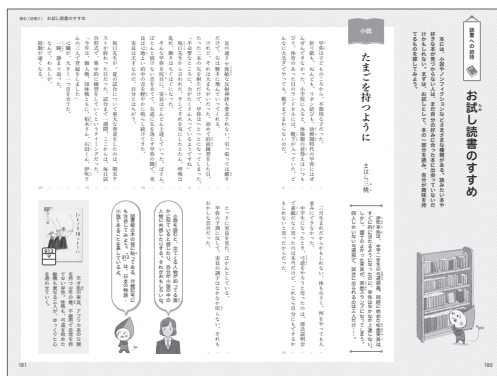
一人一人の「たい」にしっかり応える教科書です。

学習において最も大切なのは、学ぶ意欲。子供たちの興味に、つまずきに、もっと学びたい気持ちに、教科書とデジタルコンテンツで応えます。必要に応じて、進度に応じて活用できるデジタルコンテンツが、個別最適な学びを支えます。

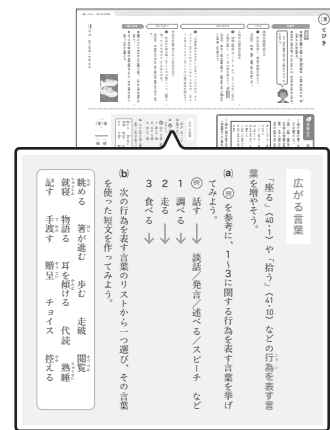


② 視野を広げ自分を高めるための読書、自分の思いや考えを表現するための語彙の学習も充実しています。

- 読書は、自己を見つめ、世界を広げ、未来を考えるための、最短で最良の道。本に思わず手を伸ばしたくなる、そんな仕掛けをちりばめました。
- 心の機微を、緻密な思考を、表現できるようにしてほしい。多様で多彩な言葉に触れられる機会を数多く設けました。



▲p.180-「お話し読書のすすめ」
自分の好みに合った本を見つけるための「お話し読書」を提案する読書教材。



▲p.40-「私たちの未来」の「広がる言葉」

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 [] 内は、教育基本法 第1章 第2条のうち、特に関連の深いものを示す。 | 該当箇所 |
|--|--|---|
| 言葉の学習 | • 国語の学習の基本の一つ、朗読の仕方から学びが始まります。[第1号] | ▶ 16～25ページ |
| 1 言葉を楽しむ | • 詩の鑑賞と創作を通して、豊かな情操を育みます。[第1号] | ▶ 28～35ページ |
| 2 思いを捉える | • 他者との交流によって新たなものの見方に気づく少女の姿を描いた「私たちの未来」を読むことを通して、自律の精神と自他への敬愛の情を育みます。[第2・3号] • 相手の話を共感的に聞くことを学び、他者を尊重する態度を養います。[第3号] | ▶ 40～47ページ ▶ 48～51ページ |
| 3 分かりやすく伝える | • オオカミに対する見方の相違や変化を論じた「オオカミを見る目」を読んで、価値観の多様性や環境の保全についての認識を深めます。[第1・4号] • 全教科の学習や社会生活に必要な、レポートの書き方を学びます。[第1・3号] | ▶ 58～65ページ ▶ 66～72ページ |
| 4 展開を捉える | • 職人の弟子の決意を描いた「さんちき」を通して勤労を重んずる心を育みます。[第2号] • 案内や報告の文章を書いて、社会と関わっていく態度を養います。[第3号] | ▶ 92～111ページ ▶ 112～113ページ |
| 5 考えをまとめる | • 「私のタンポポ研究」を読んで科学的なものの見方を学びます。[第1号] • 根拠を明示して意見文を書くことを通して、論理的な考え方を育成します。[第1号] | ▶ 118～127ページ ▶ 128～133ページ |
| 6 伝統文化に親しむ | • 導入教材「移り行く浦島太郎の物語」で古典への関心を高めます。[第5号] • 豊富な資料と併せて古典を学び、伝統文化に親しみます。[第1・5号] | ▶ 140～143ページ ▶ 144～159ページ |
| 7 伝え方を考える | • ニュース制作の裏側を明かす「ニュースの見方を考えよう」を読み、ニュースの編集に取り組んで、情報を受信・発信する際の注意点を学びます。[第1・3号] • 似ている言葉についてのスピーチをして、言語文化への認識を深めます。[第5号] | ▶ 162～173ページ ▶ 174～178ページ |
| 8 視点を変える | • 少年時代の熱情と悔恨を描いた「少年の日の思い出」を読むことを通して、豊かな情操と自律の精神を育みます。[第1・2号] • 随筆を書くことを通して、個性を磨き、創造性を養います。[第2号] • グループディスカッションを通して、公共的・協働的な態度を養います。[第3号] | ▶ 190～205ページ ▶ 206～209ページ ▶ 210～214ページ |
| 未来への扉 | • 1年間の学習の総まとめとして、文章と資料を読み、多様性と共生社会について考えます。また、これまでの学習を通して考えてきた自分や社会の課題を振り返ります。[第1～5号] | ▶ 220～227ページ |
| 詩 | • 一人一人の多様性とその調和をうたう「風の五線譜」、成長への希求をうたう「わたしの中にも」を学びます。[第2号] • 「日本語のしらべ」として、中原中世の「月夜の浜辺」を学びます。[第5号] | ▶ 巻頭見返し、 218～219ページ ▶ 136～138ページ |
| 読書 (読書と情報/ 読書への招待/ 読書案内/読書活動) | • 被爆者の凄惨な体験を絵で再現することで、平和への思いを受け継ごうとする高校生たちの姿を記録した「平和のバトン」を読み、生命を尊び平和を願う心を育みます。[第4・5号] • 「お話し読書のすすめ」では、さまざまな種類の本を読み、読書に親しみます。[第1号] • 3年間で422冊のさまざまな種類・テーマの本を紹介し、本を読んで調べたり感想を交換したりする活動を設定しています。[第1～5号] | ▶ 78～87ページ ▶ 180～185ページ ▶ 76～77、88～90、 186～188ページ等 |
| 言葉(日本語探検/ 文法の窓・文法解説/ 漢字道場/広がる言葉) | • 日本語の特徴や文法、漢字を学び、日本語への興味・関心を高めます。[第1・5号] • 教科書やデジタルコンテンツを通してさまざまな語彙に触れ、語感を磨き、語彙習得への意欲を高めます。[第1・5号] | ▶ 26ページ ほか ▶ 47ページ ほか |
| 資料編 | • 小説・説明文や古典作品、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に役立つ資料、漢字資料などを掲載し、自主的な学習に役立てられるようにしています。デジタルコンテンツではさらに多くの資料を用意しています。[第1～5号] | ▶ 246ページ～巻末 |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

① インクルーシブ教育を目指して

- ・特別支援教育の専門家・校閲を受け、全ての生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮しています。
- ・国語の授業では、文章の行数で指示を出すことがしばしばあります。生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付しました。
- ・特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」の発行を予定しています。

② ユニバーサルデザインへの取り組み

- ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。色のみで違いを表現することは避け、色に加えて模様や記号で識別できるようにするなどの工夫をしました。
- ・脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮しています。
- ・生徒が情報を捉えやすく学習に集中できるように配慮しています。文字と図版などとの区別や、活動の区切りを明確にし、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなどを工夫しました。
- ・小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用しています。

③ 多様性への配慮

- ・文章や挿絵などに登場する人物について、性別や人種、身体的特徴、家庭環境等に偏りがないように配慮しています。

④ 造本上の工夫

- ・生徒の身体的負担を軽減するために、学習の参考や深化・拡充のための資料は、1年用に143ものデジタルコンテンツとして用意するなど、教科書の内容を精選し、ページ数を削減しました。また、本文用紙は、十分な強度を保ちつつ軽量化したものを使用しています。
- ・環境への配慮から、再生紙および植物油インキを使用しています。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っています。

(2) 1人1台端末時代の教科書

- ・1人1台端末の実現に伴い、教科書の各教材に示した2次元コードからアクセスして利用できる音声や映像などの資料(デジタルコンテンツ)を豊富に用意しました。授業中に全員で見たり、活動の中で各自が必要に応じて使ったりできるコンテンツのほか、家庭での自学自習に活用できるコンテンツもあります。
- ・生徒が必要に応じて参照できる便利な資料を、デジタルコンテンツの「デジタル資料室」「言葉・漢字・古典の資料」として用意しました。いつでも閲覧することができ、授業中のみならず、生活の中でも活用することができます。
- ・教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトにアクセスできます。

(3) 今日的課題への取り組み

① 各種の教育課題への取り組み

- ・伝統・文化の継承を重視しています。古典や近代文学・近代詩を手厚く取り上げ、日本の伝統・文化に関する題材も数多く扱っています。
- ・教科書全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定しました。「平和・国際理解」「地球環境」「多様性」「情報社会」「安全・防災」などの現代的諸課題をテーマとして立て、各教材の学習の中で意識できるようにしています。
- ・自己形成やキャリア教育に関する題材を積極的に扱っています。

② 小・中・高の円滑な接続

- ・小学校の学習内容(学習指導要領)を踏まえて中学校の学習目標および「言葉の力」を設定し、小中9年間の系統性を図っています。
- ・小学校6年から中学校1年への学習の移行がスムーズに行えるように、1年の初めの文章教材は、小学校と同じ教科書体で、大きな活字で掲載しました。また、1年前半の教材は難しい内容を避け、小学校高学年の復習となるように配慮しています。
- ・3年では、高校への橋渡しとなるように、社会性のある題材や言語活動を扱ったり、論説文・評論文を掲載したりしています。また、3年資料編で「古典の文法」(発展的な学習)も扱っています。

③ 学力向上への取り組み

- ・全国学力・学習状況調査やPISA調査で求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動の題材を選定しました。また、文章と図表から読み取った情報を結び付けてまとめたり、条件に従って根拠を挙げて自分の意見を記述したりする設問を積極的に取り入れました。
- ・「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」、デジタルコンテンツを中心に、家庭でも学ぶことのできる内容を用意しています。特にデジタルコンテンツには、予習・復習に活用できる資料や練習問題をそろえました。
- ・全ての学習の基盤にもなる読書を重視し、「読書案内」や「読書活動」を充実させるなど、生徒の豊かな読書生活を支援しています。


(4) 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

① 先生がたの働き方改革への貢献

- ・何を学ぶのか(「言葉の力」)、どのように学ぶのか(「話すこと・聞くこと」「書くこと」の「学習の流れ」や、「読むこと」の3段階の「てびぎ」)を明示するとともに、活動の具体例を例示しました。指導計画・評価計画が立てやすく、無理なく指導できます。
- ・多くの教材に、導入や理解の定着に役立つデジタルコンテンツを用意しているため、先生の授業準備の効率化を図れます。
- ・デジタルコンテンツのほか、教師用指導書や教科書周辺教材を通じて、学習指導をさまざまな面から支援します。

② カリキュラム・マネジメント

- ・他教科の学習内容と関連があり、相互に学びを深めることのできる教材に、教科関連マーク(🔗)と教科名を示しました。
- ・レポートや新聞、手紙、スピーチ、プレゼンテーション、さまざまな形式の話し合いなど、他教科の学習に生きる言語活動をそろえています。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材は、学習内容が相互に緩やかに関連しているものの、独立した教材であるため、学校の実情に応じて、教材の順番を組み替えて扱うことが可能です。

| | |
|-------------------------------|--|
| 資質・能力の育成 | <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各教材の学習のポイントを「言葉の力」として明示し、着実な習得を図っている。「言葉の力」を多彩な言語活動の中で活用することを通して、思考力・判断力・表現力を育成できる。 「学びを支える言葉の力」（「情報と論理の学び」「文学の学び」「対話の学び」）で、情報の扱い方や論理的な考え方、文学作品の読み深め方、コミュニケーションの基礎力を鍛えることができる。 |
| 主体的・対話的で深い学びの実現（教材の構成・学習の進め方） | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「領域別教材一覧」で、生徒が既習事項を振り返ったり、今後の学習の見通しを持ったりすることができる。また、巻末の「言葉の力」一覧で、中学校3年間の学習を見通したり振り返ったりすることができる。 巻頭扉の「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示している。また、国語の学習を生活に生かす視点を各所に示している。国語の学習で言語能力を育み、それを生活に生かしていこうとする態度を養えるようにしている。 各教材では、言葉に着目し、言葉による見方・考え方を働かせられるように、活動指示や「てびき」を工夫している。 各教材の「見通す」で学習目標と問いかけを、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の「学習の流れ」や、「読むこと」の3段階の「てびき」（「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」）で学習の進め方を、「振り返る」で学習目標に照らした振り返りの観点を示している。これらを手がかりに、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。 主体的・対話的で深い学びに資する課題解決的な言語活動をそろえ、協働的な学びの場面を数多く設定している。 物語仕立ての教材やゲームを取り入れた教材、色鮮やかな写真や挿絵、デジタルコンテンツの映像やアニメーションなど、生徒の学習意欲を高める仕掛けを工夫している。 |
| 学力向上への取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査やPISA調査で求められる学力の育成を意識して、文章や言語活動を選定している。また、文章と図表から読み取った情報を結び付けたり、根拠を挙げて自分の意見を記述したりする設問が数多くある。 「読むこと」の脚注語彙や「広がる言葉」、デジタルコンテンツを中心に、家庭でも学ぶことのできる内容を用意している。予習・復習に、また授業で学んだことを生かして取り組む学習に活用できる。 全ての学習の基盤にもなる読書を重視し、「読書案内」で422冊の多種多様な本を紹介している。 |
| 小・中・高の円滑な接続 | <ul style="list-style-type: none"> 学習目標および「言葉の力」は、小学校の学習内容（学習指導要領）を受け、小中9年間の系統性を図って設定している。 小学校6年から中学校1年への学習の移行がスムーズに行えるように、1年の初めの文章教材は、小学校と同じ教科書体で、大きな活字で掲載している。また、1年前半の教材は、小学校高学年の復習となる内容にしている。 3年では、高校への橋渡しとなるように、社会性のある題材や言語活動を扱ったり、論説文・評論文を掲載したりしている。また、3年資料編で「古典の文法」（発展的な学習）も扱っている。 |
| 他教科の学習との関連 | <ul style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントに資するよう、他教科の学習内容と関連があり、相互に学びを深められる題材を数多く取り上げている。他教科と特に関連の深い教材に教科関連マーク（)と教科名を示している。 レポートや新聞、手紙、スピーチ、プレゼンテーションなど、他教科の学習に生きる言語活動をそろえている。 |
| 伝統・文化の継承 | <ul style="list-style-type: none"> 我が国で長く読み継がれてきた珠玉の古典作品を、美しい写真資料を添えて掲載するとともに、古典の鑑賞・解説の文章も豊富に掲載している。「てびき」は、伝統・文化がどのように受け継がれてきたのかを考えられる内容にしている。 近代文学や近代詩の名作も、数多く掲載している。詩歌は、学年3か所の詩教材に加え、扉に季節感のある詩歌を印象的な写真とともに掲載し、一年を通じて日本の豊かな風土に培われた言語文化に親しめるようにしている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」でも、日本の伝統・文化に関する文章や言語活動を扱っている。 |
| 現代的な諸課題の扱い | <ul style="list-style-type: none"> 教科書全体を通して「未来を考えるための9つのテーマ」を設定している。具体的には、①平和・国際理解、②地球環境、③伝統と文化、④多様性、⑤情報社会、⑥安全・防災、⑦科学と探究、⑧学校・社会、⑨自己と他者の9つで、現代的諸課題を取り上げて、各教材の学習の中で考えを深められるようにしている。 自己形成やキャリア教育に関する題材を積極的に扱っている。 メディアリテラシーおよび情報活用能力を育成する教材を全学年に設けている。 |
| 教育の情報化への取り組み（ICTの活用） | <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末の実現に伴い、教科書の各教材に示した2次元コードからアクセスして利用できる音声や映像などの資料（デジタルコンテンツ）を豊富に用意している。家庭での自学自習に活用できるコンテンツもある。 生徒が必要に応じて参照できる便利な資料を、デジタルコンテンツの「デジタル資料室」「言葉・漢字・古典の資料」として用意している。授業中に参照するだけでなく、家庭学習でも活用することができる。 教科書に示した2次元コードから、SDGsや情報活用の特設サイトにアクセスできる。 |
| 特別支援が必要な生徒への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ての生徒にとって読みやすく使いやすい教科書となるように配慮している。 「読むこと」の文章では、生徒が行を数えやすいように、各行の下に数字と点を付している。 特別支援教育に有効な機能が充実した「学習者用デジタル教科書」の発行を予定している。 |
| ユニバーサルデザインへの取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っている。色だけでなく模様や記号で識別できるように工夫している。 脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用い、読みやすさに配慮している。 生徒が情報を捉えやすく学習に集中できるように配慮している。文字と図版などとの区別や、活動の区切りを明確にし、文字の大きさや書体、罫線や囲みの使い方、色遣いなどを工夫している。 本文書体に、小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を使用している。 |
| 印刷・製本 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の身体的負担を軽減するため、学習の参考や深化・拡充のための資料はデジタルコンテンツとして用意するなど、教科書の内容を精選し、ページ数を削減している。また、十分な強度を保ちつつ軽量化した用紙を使用している。 環境への配慮から、再生紙および植物油インキを使用している。また、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たした「グリーンプリンティング認定工場」で印刷・製造を行っている。 表紙には耐久性に優れた加工を施し、製本には特に堅牢な針金綴じを用いている。 |

2. 対照表

| ページ | 教材名 | 学習指導要領の内容 | | | | 配当時数 | | | | 配当学期 |
|---------|------------------|-------------------|--------------|-------------|-------------|------|-------|----|----|--------------------------|
| | | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | | | 知・技 | 思・判・表 | | | |
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | | 話・聞 | 書 | 読 | |
| 巻頭 | 風の五線譜 | (1)オ | | | (1)イ,(2)イ | | | | 1 | 一学期 39時間 書き 9時間 |
| 16 | 朗読の世界 | (1)ウ | (1)ウ | | (1)ア,(2)イ | | 1 | | 2 | |
| 26 | 音声の働きや仕組み | (1)ア | | | | 1 | | | | |
| 28/巻頭 | 詩の心——発見の喜び／扉の詩八編 | (1)ウ・オ | | | (1)ウ・オ,(2)イ | | | | 2 | |
| 33 | 詩の創作 | (1)オ | | (1)エ,(2)ウ | | | | 3 | | |
| 36 | 活字と書き文字・画数・筆順 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 38/230 | 文法とは・言葉の単位 | (1)エ | | | | 1 | | | | |
| 40 | 私たちの未来 | (1)ウ | | | (1)イ・オ,(2)イ | | | | 4 | |
| 48 | 話の聞き方・質問の仕方 | | (1)エ | | | | 1 | | | |
| 50 | インタビュー | | (1)エ,(2)ア | | | | 2 | | | |
| 52 | 音読み・訓読み | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 54 | 接続する語句・指示する語句 | (1)エ | | | | 1 | | | | |
| 58 | オオカミを見る目 | (1)ウ・エ, (2)ア・イ | | | (1)ア・エ,(2)ア | | | | 4 | |
| 66 | 情報の分類・比較 | (2)イ | | | | 1 | | | | |
| 68 | 「食文化」のレポート | (2)ア・イ | | (1)ア・イ,(2)ア | | | | 8 | | |
| 73 | 国語の学習に関わる漢字 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 74 | 語の意味と文脈 | (1)ウ | | | | 1 | | | | |
| 76/78 | 図書館の活用／平和のバトン | (3)オ | | | (1)オ,(2)ウ | (3) | | | 3 | |
| 92 | さんちぎ | (1)ウ | | | (1)イ・オ,(2)イ | | | | 4 | |
| 110 | 場面と描写 | | | | (1)イ | | | | 1 | |
| 112 | 案内や報告の文章 | | | (1)ア,(2)イ | | | | 3 | | |
| 114 | 方言と共通語 | (3)ウ | | | | 1 | | | | |
| 116/233 | 文の成分・連文節 | (1)エ | | | | 2 | | | | |
| 118 | 私のタンポポ研究 | (1)ウ,(2)ア・イ | | | (1)ア・ウ,(2)ア | | | | 5 | |
| 128 | 意見と根拠 | (2)ア | | | | 1 | | | | |
| 130 | 「写真」の意見文 | (2)ア・イ | | (1)ウ・オ,(2)ア | | | | 6 | | |
| 134 | 漢字の部首 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 136 | 月夜の浜辺 | (1)オ | | | (1)イ,(2)イ | | | | 1 | |
| 140 | 移り行く浦島太郎の物語 | (3)イ | | | (1)オ | (1) | | | 1 | |
| 144 | 伊曾保物語 | (3)ア | | | (1)ウ | (2) | | | 2 | |
| 147 | 竹取物語 | (3)ア | | | (1)イ・オ | (4) | | | 4 | |
| 156 | 矛盾 | (3)ア | | (1)ア | (1)オ | (3) | 1 | | 2 | |
| 160 | 形の似た漢字 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 162 | ニュースの見方を考えよう | (1)ウ | | (1)ア | (1)オ,(2)ア | | | 2 | 3 | |
| 172 | 原因と結果 | (2)ア | | | | 1 | | | | |
| 174 | 「似ている言葉」スピーチ | (1)ウ,(2)ア・イ | (1)イ・ウ,(2)ア | | | | 5 | | | |
| 179 | 他教科で学ぶ漢字 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 180/188 | お試し読書のすすめ／本のポップ | (3)オ | | | (1)オ,(2)ウ | (2) | | | 2 | |
| 190 | 少年の日の思い出 | (1)ウ | | | (1)ウ・エ,(2)イ | | | | 6 | |
| 206 | 日常生活から生まれる随筆 | (1)ウ | | (1)ア・ウ,(2)ウ | | | | 7 | | |
| 210 | グループディスカッション | (2)イ | (1)ア・オ,(2)イ | | | | 6 | | | |
| 215/238 | 単語の分類 | (1)エ | | | | 2 | | | | |
| 216 | 漢字の成り立ち | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 218 | わたしの中にも | (1)オ | | | (1)イ・オ,(2)イ | | | | 2 | |
| 220 | 多様性と共生社会 | (2)ア | (1)イ,(2)ア | (1)ウ,(2)ア | (1)オ,(2)イ | | 1 | 1 | 2 | |
| 242 | 小学校6年の漢字〈日常〉 | (1)イ | | | | 1 | | | | |
| 計 | | | | | | 20 | 16 | 31 | 51 | 118 |
| 書写および予備 | | | | | | | | | | 22 |
| 総計 | | | | | | | | | | 140 |

【備考】

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内容を扱う教材内で、併せて「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」の「ア・イ・オ」を取り立てて扱う場合、「配当時数」の「知・技」欄にも括弧付きで時数を示した。
- ・「配当学期」欄に「書・予」とともに示した数字は、書写および予備の時数である。
- ・「知識及び技能」の「(1)イ」のうち、学年別漢字配当表の漢字については、読み慣れることを目的として全ての教材で扱っている。また、文や文章の中で使うことを目的として「書くこと」の教材で扱っている。特に小学校6年で学習した漢字は、「小学校6年の漢字〈日常〉」で取り立てて扱い、確認できるようにしている。その他の常用漢字については、365字を第1学年で新出漢字として提出している。